

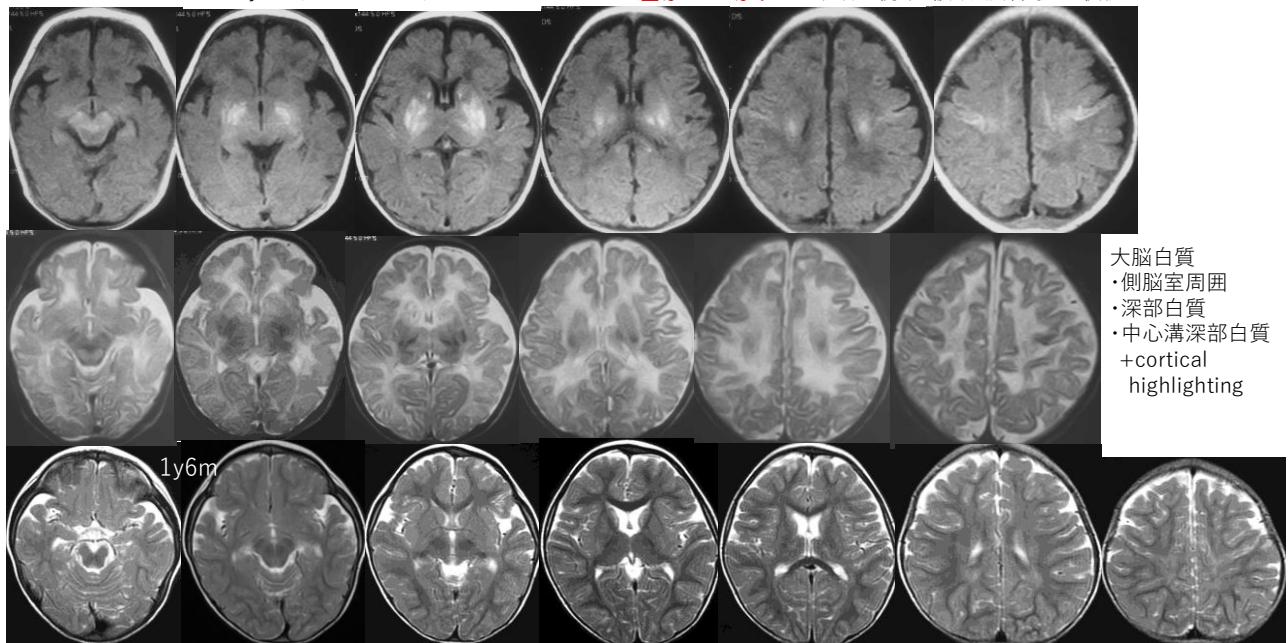
周生期低酸素性視床被殼大脳白質障害の分離運動制限合併

横地健治



1

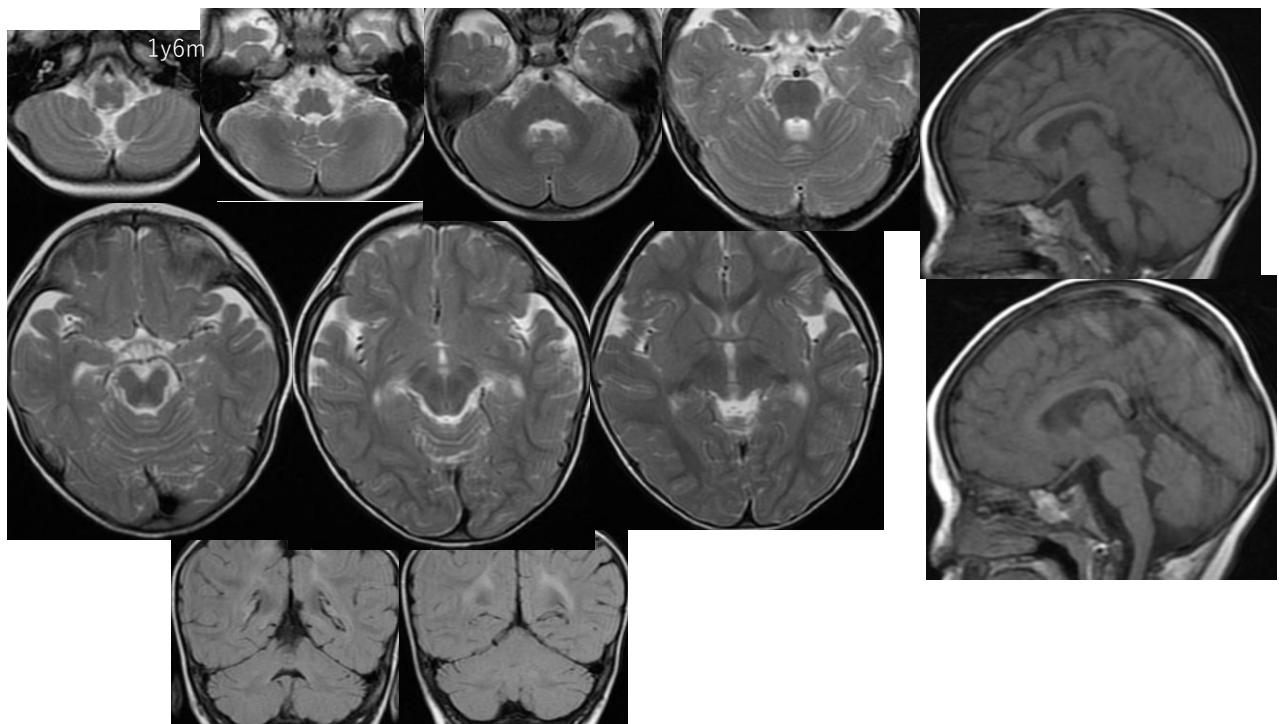
満期HIE つたい歩き 2y4m (5歳時未歩行) 軽度知的障害 左がいいか? 中脳 視床・被殼・淡蒼球・尾状核



内包後脚は運動前野線維

2

1



3



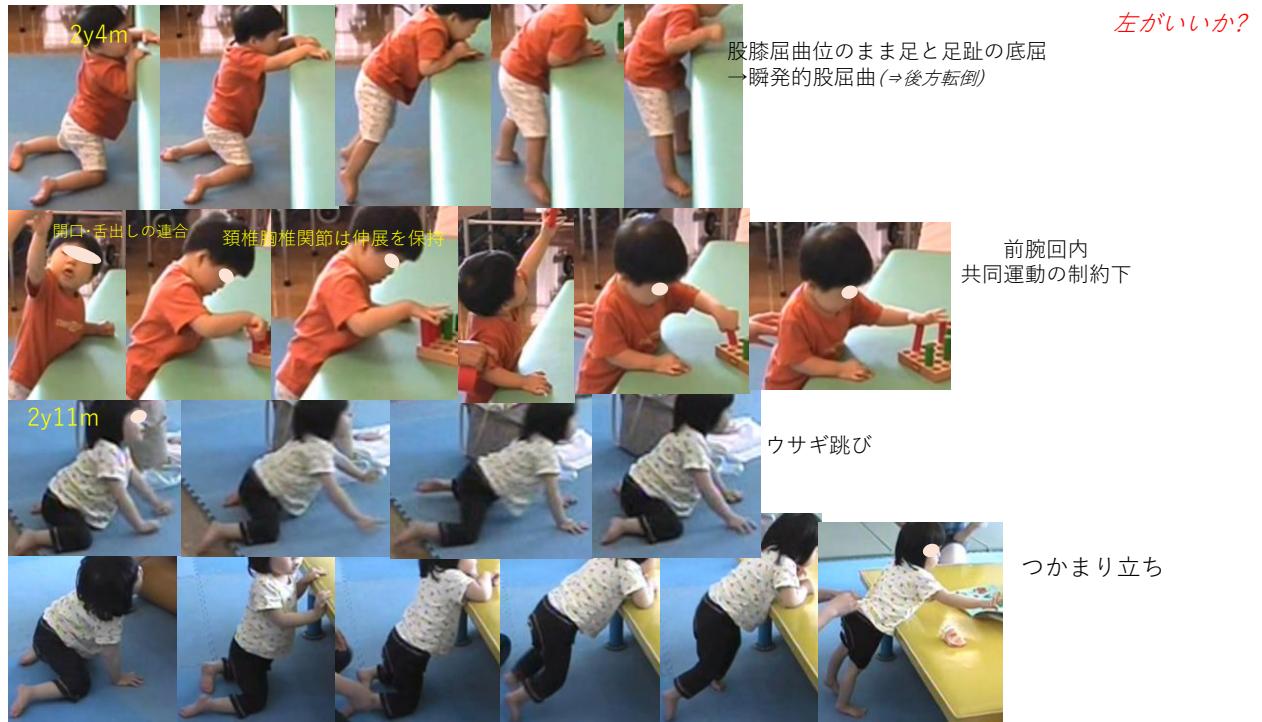
4



5



6



7

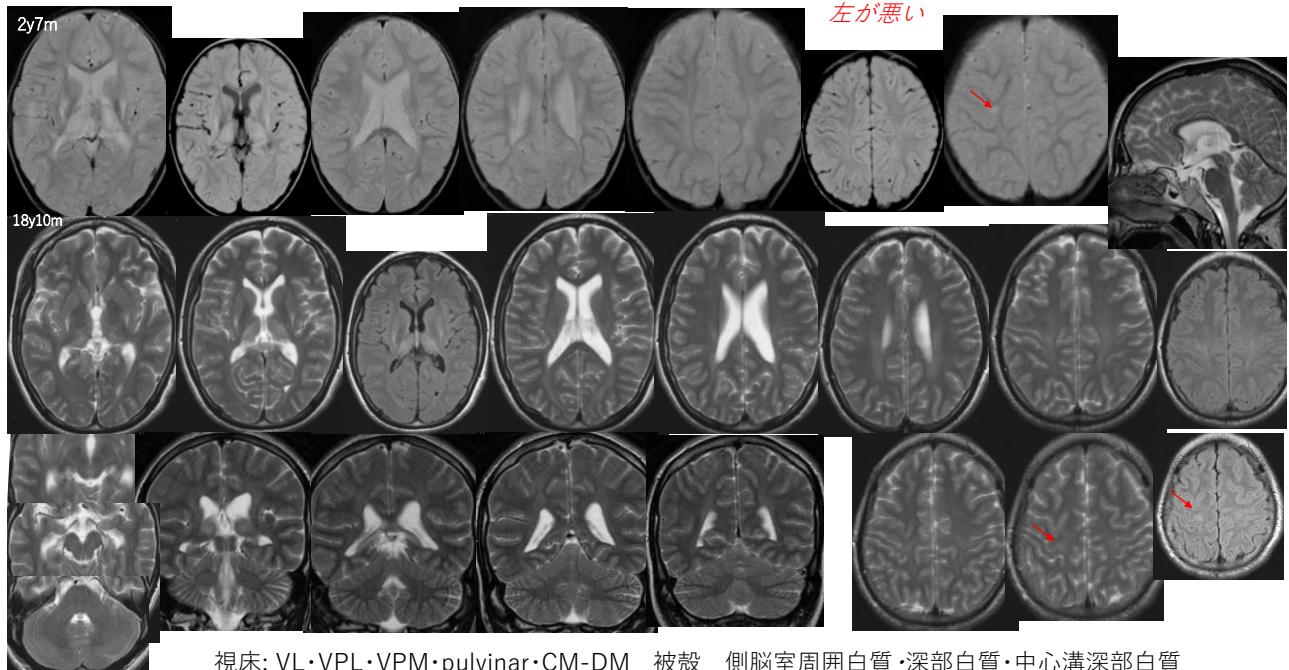


股屈曲過活動・伸展荷重制限・共収縮制御障害・分離運動制限・中脳性運動発現障害

8

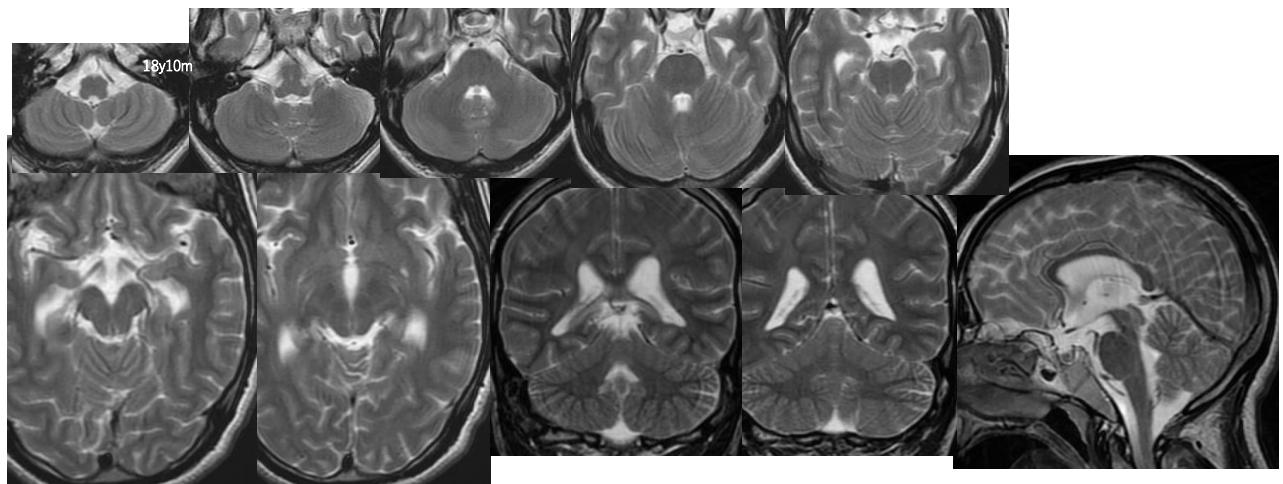
4

滿期HIE 橫地分類B1



視床: VL・VPL・VPM・pulvinar・CM-DM 被殼 側脳室周囲白質・深部白質・中心溝深部白質

9



中脳
脚間窩深い
被蓋 T2高信号?
hummingbird sign?

10



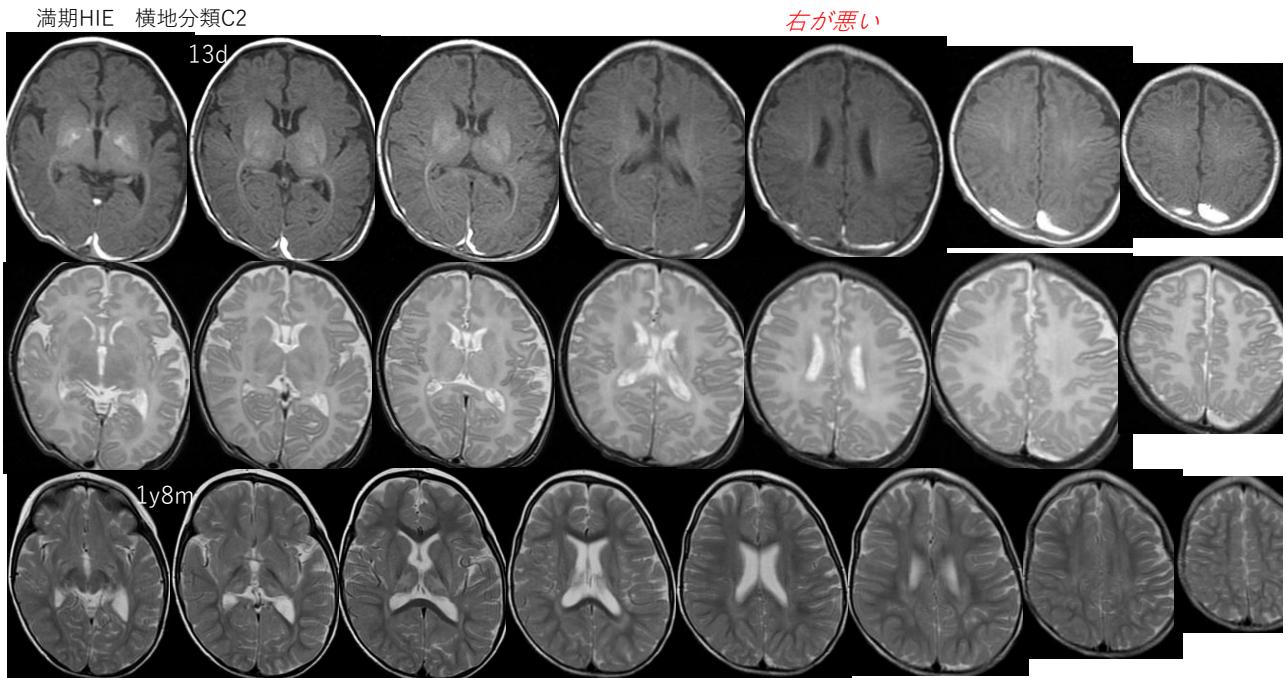
股屈曲過活動・股伸展荷重制限・分離運動制限・共収縮制御障害・中脳性運動発現障害

11



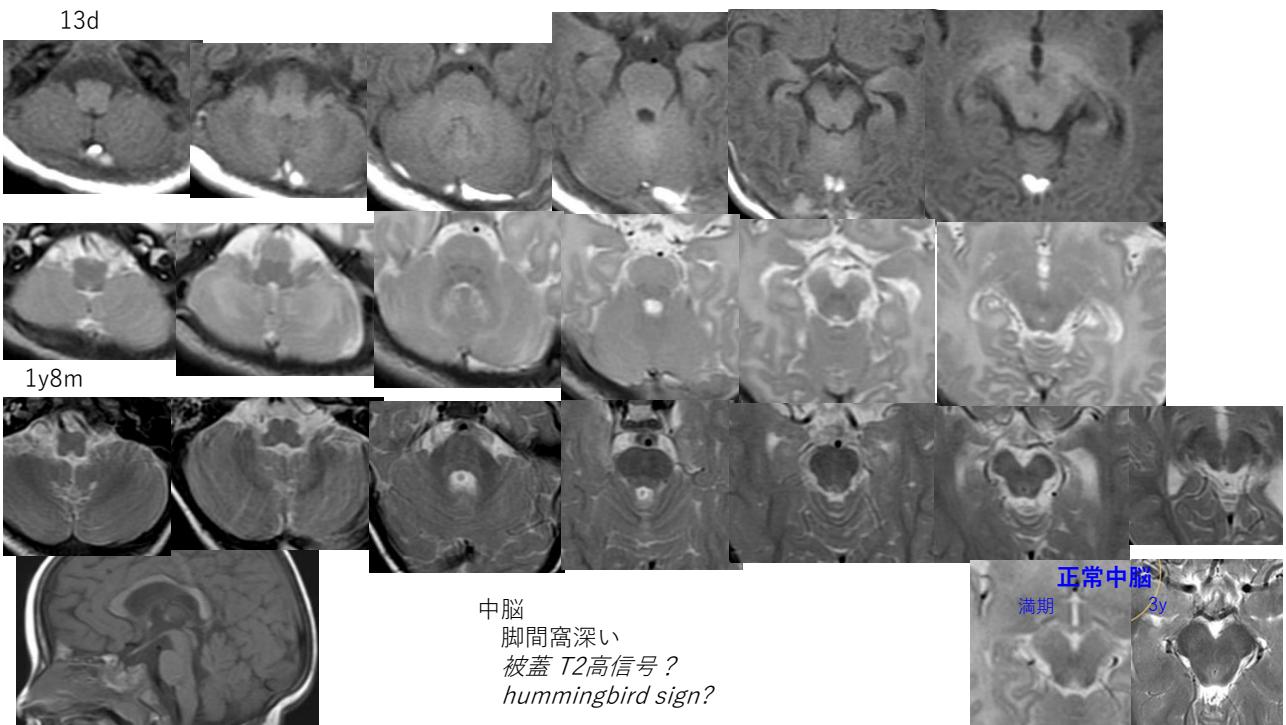
股屈曲過活動・股伸展荷重制限・分離運動制限・共収縮制御障害・中脳性運動発現障害

12

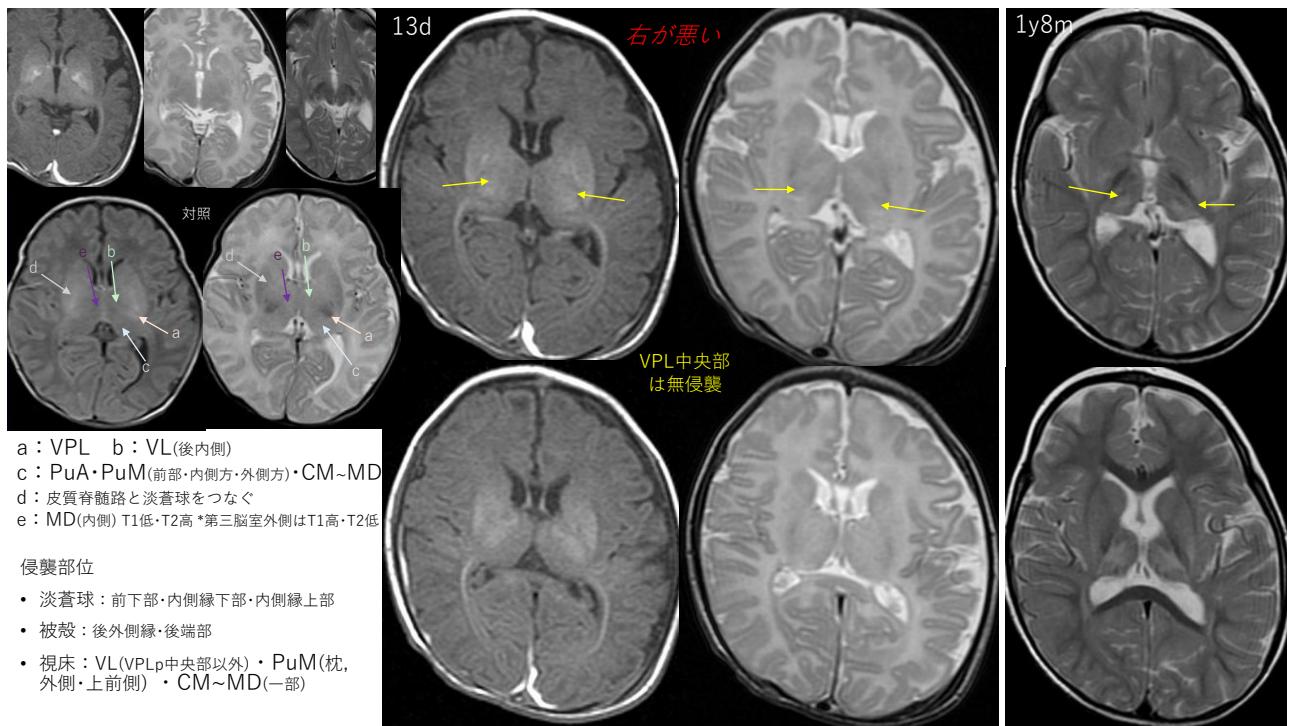


視床: VL・pulvinar・CM-DM 被殻 側脳室周囲白質・深部白質・中心溝深部白質

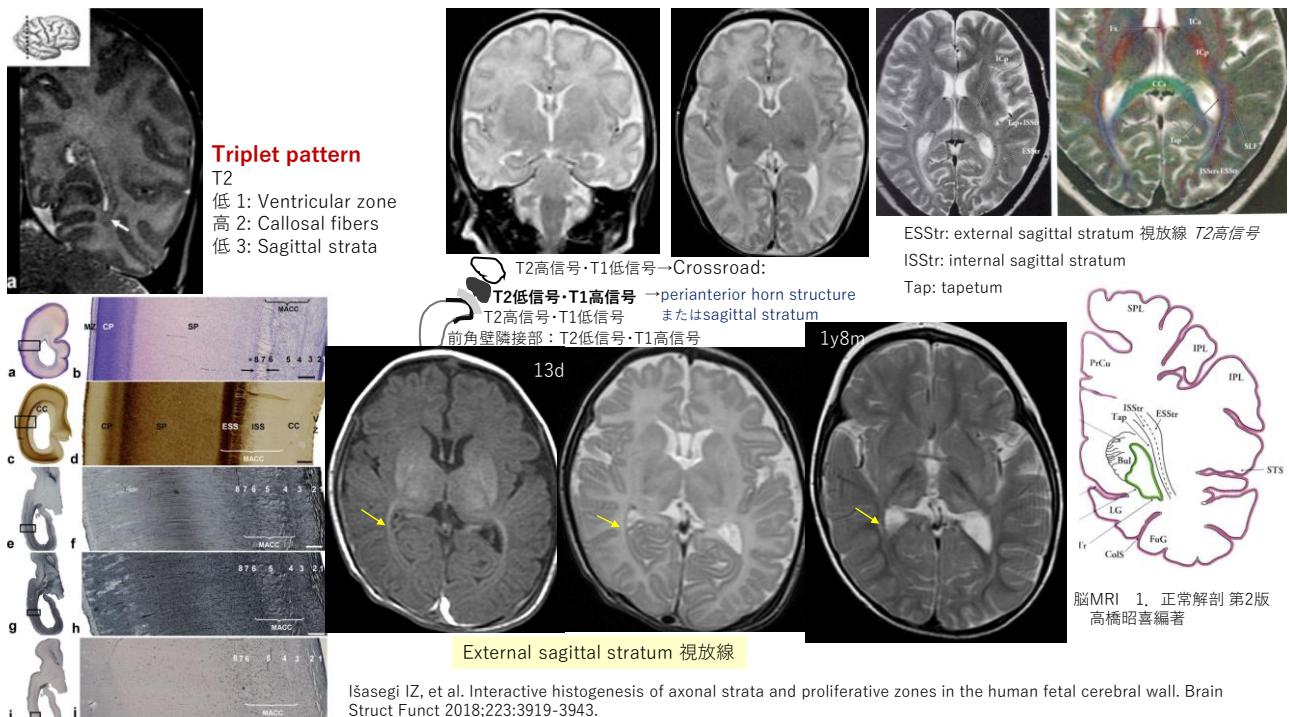
13



14



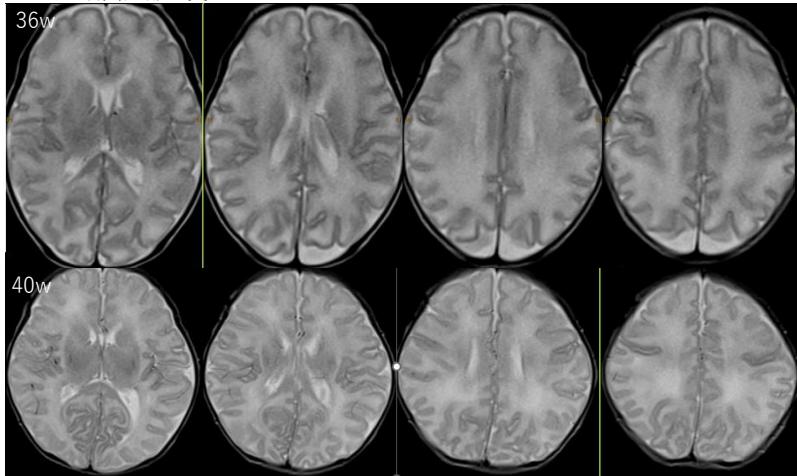
15



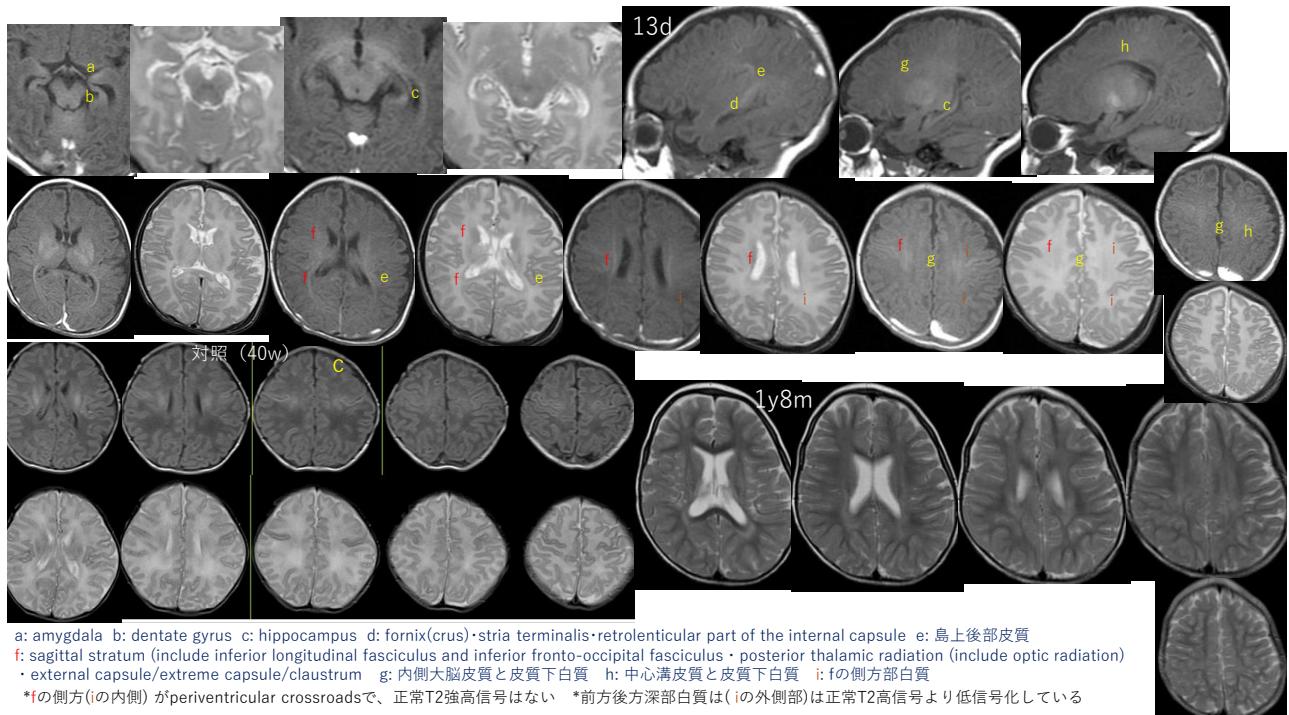
16

満期白質区分

| | | |
|-----|----------------------------|-----------------------------|
| 1 | 側脳室壁とその隣接部 | T2低信号 |
| 2 | Callosal fibers | T2高信号 |
| 3 | Sagittal strata | T2低信号 |
| 4 | Periventricular crossroads | T2強高信号 |
| 5 | 前方後方深部白質 | T2高信号 *4の側方 |
| 5' | 中心部深部白質 | T2低信号 *中心溝前後の皮質連絡髓鞘化線維 |
| 5'' | 中心溝直下白質 | T2低信号 *錐体路出力部 |
| 6 | 脳回深部・頂部白質 | T2高信号 *髓鞘化皮質関連またはsubplate遺残 |
| 6' | 脳回浅部白質 | T2低信号 *subplate |



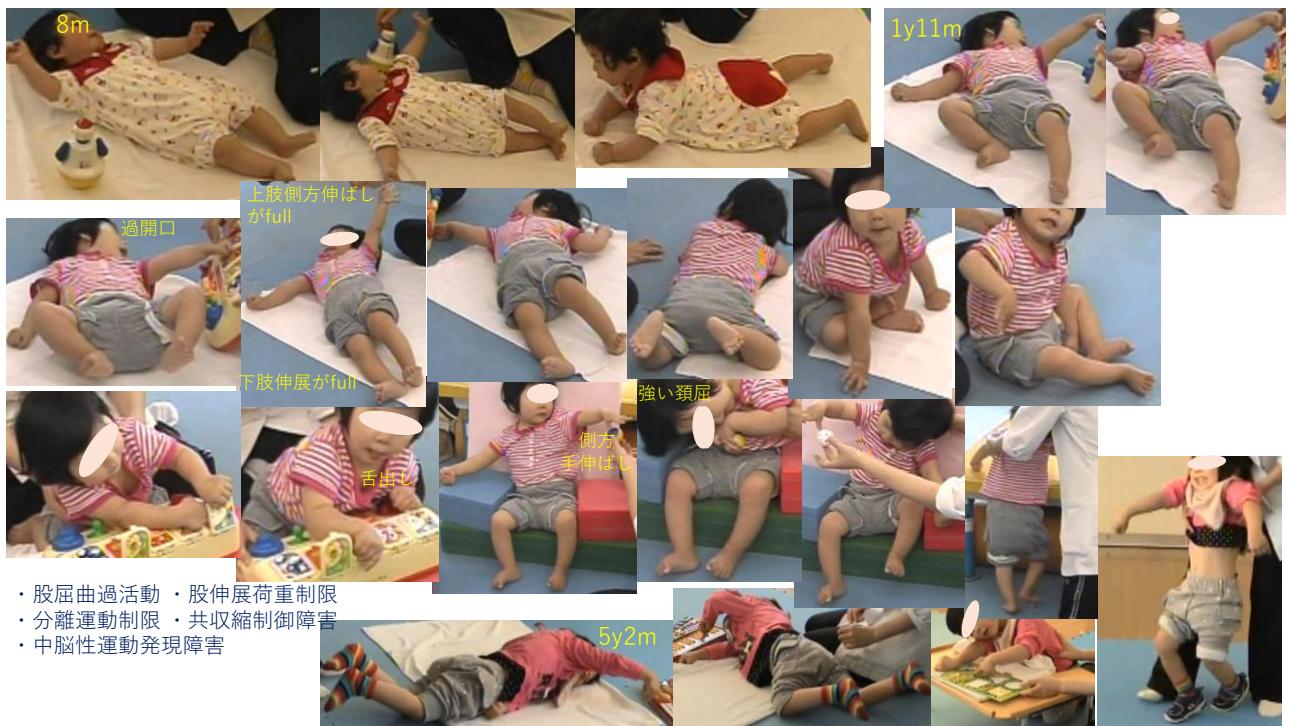
17



18



19



20

10

まとめ

- 従来、アテトーゼと痙性の合併をもって混合型四肢麻痺とされていた
- この症候は、股屈曲過活動・股伸展荷重制限・分離運動制限・共収縮制御障害・中脳性運動発現障害の合算として理解できる
- 中脳性運動発現障害は、屈曲常時筋収縮状態の脱力、あわせ伸展運動域の拡大としてみえる
 - *脊髄運動神経細胞への出力が減り、支配筋に神経原性変化が及んだためと考えられる
 - *中脳病変の存在は、大脑脚の開大と被蓋前後径の短縮により診断される